



あおぞ

大江町立
本郷東小学校
学校だより
No. 11
令和5年2月22日

漢詩「本郷八景」を歩く

昨年のことになりますが、11月に6年生が荻野方面に校外学習に行くというので、わたしも同行しました。6年生は荻野地震に関する地形の観察が目的です。所々で立ち止まり地形について確認しながら進んでいきました。わたしの目的はというと、子どもたちの安全はもちろんですが、6年生の子どもたちと一緒に「本郷八景」という漢詩に出てくる荻野地区を歩きたかったのです。

わたしが「本郷八景」と出会ったのは、元教育長の富樫是行先生からいただいた「大江町誕生60周年記念誌『ふるさと発見 大江』」（令和2年2月 大江町教育委員会発行）を読んだときです。記念誌では、「左沢八景」と「本郷八景」が紹介されていました。そして、令和3年11月に富樫先生が「漢詩『左沢八景』を味わおう」というテーマでお話しされた大江町歴史講演会に参加させていただきました。後日、富樫先生が「本郷八景」について調べて詳しく教えてくださいました。

「本郷八景」は漢詩と和歌からできており、江戸時代後期の作とされています。作者は堂屋敷の大泉林助という人で、「玉水（ぎょくすい）」と名乗りました。大泉林助は、学問を好み、寺子屋のような形で子弟を教育していました。その大泉林助の作った「本郷八景」は、中国の洞庭湖周辺の景勝地を本郷の地に見立てて詠じた八首の漢詩に、和歌が添えられています。「本郷八景」は次の八つです。

「薬師堂の夜雨」	薬師堂は顔好にある羽黒神社
「葛沢山の晴嵐」	葛沢山は葛沢にある葛沢山高松寺
「腰王山の晩鐘」	腰王山は所部にある腰王神社
「平林山の夕照」	平林山は梨木原の北に広がる平林地区北方の丘陵
「善明院の落鷹」	上北山にある善明院
「日光山の暮雪」	日光山は大山自然公園の南にある、大谷との境の山
「荻袋の木売舟」	荻袋は現在の荻野。明治6年までは荻袋村だった。
「塩平庵の秋月」	塩平庵は塩野平にある光養寺

6年生と一緒に歩いた荻野地区を詠んだ漢詩の中に、「風日晴和 人意好し（ふうじつせいわ じんいよし）」という美しい一節が出てきます。「春の空はうらうらと晴れ、人の心ものどかである」という意味です。地元を題材にして漢詩・和歌で地域の様子を描いた「本郷八景」が生まれたこの本郷地区。そのきれいな景色と文化の香りを感じながら地域を歩くのもいいですね。

【校長 鈴木智香子】

